

幼児教育検討委員 会報告がまと まりました

市教育委員会では、市立幼稚園閉園後の0歳児から5歳児までを対象とする幼児教育のあり方を検討するため、学識経験者や公募市民等12名で構成される幼児教育検討委員会を平成17年11月に設置し、検討を進めてきました。平成18年8月に、「幼児教育と子育て支援の今後のあり方」に関する委員会報告がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

詳しくは教育政策担当 ☎470・7709へ。

<東久留米市の幼児教育・子育て支援の今後のあり方の概要>

★☆☆ こどもがのびのび心豊かに育つまち ☆☆☆

☆幼児教育の振興
☆幼児期の家庭教育および地域社会における子育て支援の充実

◎幼児を取り巻く環境と育ちの変化に対応した幼児教育・子育て支援機能の充実
～家庭、地域社会、支援機関（保育園・幼稚園、小学校・市）の三者の連携による幼児教育と子育て支援を推進

★☆☆ 幼児教育・子育て支援の三つの柱 ☆☆☆

○家庭と地域社会の幼児教育・子育て機能の向上
(1) 家庭と地域社会の子育て力の向上
①情報交換の機会の拡充 ②保護者が学び合う場や機会の増大 ③人とかかわりの大切さについての理解の深化 ④幼児にふさわしい生活リズムの確立 ⑤子育てや幼児教育に関する情報発信の充実 ⑥保護者や地域社会の協力体制づくり

○保育園・幼稚園および小学校の幼児教育・子育て支援機能の充実
(1) 保育園・幼稚園および小学校の支援事業のさらなる工夫
①保護者の保育参加の推進 ②保護者のニーズに合った子育て相談の充実 ③子どもの視点に立った保育の充実 ④就学前教育の充実

○幼児教育・子育て支援の市の取り組みの推進
(1) 幼児の生活や学びなどの連続性を踏まえた支援事業の展開
①ネットワークづくりの推進 ②よりよい生活リズムへの支援 ③障害の早期発見・療育の取り組みの充実 ④知的好奇心を育む機会の拡大 ⑤年齢や発達にふさわしい教育・保育の推進

★☆☆ 推進体制 ☆☆☆

○市全体の幼児教育と子育て支援の充実に向けて
(1) 市全体の幼児教育と子育て支援の視点
①幼児教育・子育て支援の重要性に関する啓発の充実
②保育園・幼稚園と小学校教育の連携の推進
ア) 小学校教育への円滑な接続のための取り組み
イ) 幼児教育・保育と小学校教育の相互理解の推進
③幼児教育担当者の資質の向上
④幼児教育・子育て支援を市全体で支える基盤の充実
(2) 推進体制の整備
①庁内連絡調整の機会の充実
◎幼児教育と子育て支援の視点を取り入れた各施策の推進 ◎組織間の連携強化
②情報交換の機会の充実および支援機能の検討
◎支援機関や保護者による取り組み状況や研究報告の意見交換などの充実 ◎幼児教育と子育て支援の研究 ◎幼児教育と子育て支援の総合的な推進機能の検討



第二小学校への入学 (指定校変更)について

第二小学校については、駅周辺再開発事業により、児童の入学人数が激増しました。要因は、大型集合住宅の建築や駅東側への踏み切りの開通等により、指定校変更・調整区域からの入学者が増えたことによりです。このため、第二小学校は学校適正規模を大幅に超え、教育条件に支障をきたしかねていません。

市教育委員会ではこれらの事情を考慮し、平成19年度新入学にあたり、次のとおり通学区域を指定することになりました。

(1) 新入学の許可範囲現在の通学区域および調整区域とします。なお、本市は住所別に通学区域を設定して指定の学校に通学していたが、指定校制度を実施しています。

(2) 兄または姉が第二小学校へ通学している方保護者の意向を踏まえつつ、個別に調整させていた

だきます。また、調整区域内であっても兄または姉が第二小学校に通学していない方は、原則として指定校である第三小学校または第五小学校へ入学していただきます。これは、第三小学校または第五小学校の通学区域域内の指定中学校は久留米中学校・南中学校・中央中学校であり、第二小学校通学区域域内の指定中学校と異なることを考慮したためです。

保護者の皆様には、こうした状況をご理解いただきますようお願いいたします。詳しくは学務課学事係 ☎470・7779へ。

各種委員を
委嘱しました

社会教育委員

社会教育法および市条例に基づき、市の社会教育の振興を図るため、10名の方を第22期社会教育委員として委嘱しました。社会教育委員は社会教育に関して教育委員会への指導・助言・調査研究、および社会教育計画の立案などを任務としています。任期は平成18年9月1日から19年8月31日までです(敬称略)。

【学校教育関係者】細谷 さゆり(下里小学校校長)

▽松尾正幸(第十小学校校長) ▽井田宗弘(東中学校校長) 【社会教育関係団体関係者】寺本亮洞(体育協会会長) ▽荻野 寛(文化協会会長) ▽堀野めぐみ(市立小・中学校PTA連合会会長) ▽菅沼法子(ボイスアウト第2団) ▽根岸公夫(体育指導委員) 【学識経験者】村山鎮雄(美術評論家) ▽田村道子(明治大学教授)

詳しくは生涯学習課社会教育係 ☎470・7784へ。

見守り放送にご理解・ご協力をお願いします

今年4月から、低学年児童の帰宅時間に合わせ、同報無線による「見守り放送」を実施しています。実施以来、音のボリューム、子どもの声による吹き込みの是非等さまざまなご意見をいただいております。現時点では、「見守り放送」が児童への安全対策として有効な施策の一つであると考えています。今後ともご理解をいただきますようお願いいたします。

【学校教育・社会教育関係者】西山 守、石井和光、久保木多喜子、村山鎮雄、田畑精一、池口頌夫、渡辺和子【公募】鈴木増雄、三好幸雄

詳しくは図書館 ☎475・4646へ。

敷地内全面禁煙、 および敷地外(門 の外・学校周囲) の喫煙マナーにも ご協力を!

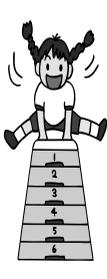
平成14年に施行された健康増進法に伴い、昨年の4月から、市立小・中学校の敷地内は全面禁煙となっております。現在ご協力をいただいております。一方、学校行事や土曜・休日の校庭開放の後に、門の付近や学校の周囲にタバコの吸殻が捨てられて困っていると、近隣のお宅から連絡をいただくことも多くなっています。敷地外で喫煙される際には携帯用吸殻入れを持参するなど、皆様のご理解とご協力をお願いします。

教育委員会の動き

第7回定例会(7月5日)
(議案)
◆東久留米市社会教育委員の委嘱について
◆東久留米市青少年委員の委嘱について
(諸報告)
●市議会第2回定例会報告について、ほか5件
第8回定例会(8月16日)
(議案)
◆東久留米市立図書館協議会運営規則の一部改正について
◆平成19年度東久留米市立小中学校心身障害学級使用教科用図書採択について
(諸報告)
●平成18年度東久留米市一般会計(教育費)9月補正予算(案)について、ほか8件

第9回定例会(9月11日)
(諸報告)
●幼児教育検討委員会の報告について、ほか2件
第10回定例会(10月5日)
(議案)
◆東久留米市社会教育委員の委嘱について
◆東久留米市教育委員会委員長及び委員長職務代理者の選挙について
(諸報告)
●市議会第3回定例会

報告について、ほか1件
第11回定例会(11月21日)
(議案)
◆東久留米市図書館協議会委員の委嘱について
(諸報告)
●私立幼稚園の入園手続きに関する個別相談会の開催結果について、ほか2件



祝

本村小学校は昭和51年に開校し、開校30年を迎え、昨年の11月17日に記念式典を開催しました。

同校は開校当時から豊かな自然はもちろん、学校裏に下里本邑遺跡がありごく身近に歴史が学べるという素晴らしい環境の中にあり、「活きる、思いやる、創る」という教育目標の下、これまで多くの児童が健やかに成長し、巣立っていきました。

本村小学校というと、学校前の都道の街路樹となっている「カリン」の収穫作業が特色の一つとなっていますが、今後も他のさまざまな行事を通じて地域との交流を図り、児童が元気でのびのびと学校生活を送れるような学校づくりを行えるよう、市教育委員会も支援していきます。

本村小学校が開校30周年を 迎えました



体育館で行われた
記念式典の様子